

# 2021' 11 DancersWeb

トップインタビュー Vol.76



## 大貫勇輔／ダンサー・俳優

「感謝と謙虚な心、素直さ。探究心」

10歳でピナ・バウシュの舞台を観て「ダンスの自由さを知った」という、子供の頃から高い感受性を持つダンサー・俳優の大貫勇輔。新国立劇場バレエ団へのゲスト出演からコンテンポラリーダンス作品、ミュージカルの主要キャストのほか、テレビドラマの出演など、俳優としての活躍も目を見張るものがある。そして、「北斗の拳」原作のミュージカル『フィスト・オブ・ノーススター～北斗の拳～』のヒーローであるケンシロウに抜擢されるという快挙も成し遂げる。連日リハーサルの超多忙の中、インタビューの時間を割いてくれた。



—ケンシロウのビジュアルがすごくカッコイイですね！撮影秘話がありましたら教えてください。

どんな衣裳で、どんな髪型になって、どんなメイクをするのか分からない状態で、ドキドキしながら現場に入ったんですが、現場スタッフさんたちが色々意見を出し合いながら的確な指示で、どんど

ん形になっていく過程には高揚感がありました。そして、カメラマンさんのテンポがすごく良くて、色々な動きや表情を引き出してくれました。

原作「北斗の拳」の関係者さんも撮影に立ち会ってくださったんですが、ケンシロウの腕の構えの角度、重心のかけ方、脚の立つ位置など色々アドバイスをいただいて、本当に、みんなで創り上げた渾身のチラシになりました。

—出演オファーが来る前から、原作「北斗の拳」をご存じでしたか？

19歳からお世話になっている兄のような存在の整体の先生がいるんですが、「俺のバイブルだから絶対読むべき」と話を色々聞いていましたので、もちろん内容は知っていました。なので不思議な縁を感じます。

—リハーサルの進み具合はいかがですか？

先日一幕を通し終わったところです。二幕も半分以上できあがっていて、かなり早いテンポ感で稽古が進みます。本番までは一ヶ月近くあるので、削ったり足したりしつつ、ブラッシュアップしていきます。いい緊張感を持ちながら進みますよ。

—本作で振付をされる辻本知彦さんについて教えてください

辻本さんは僕のコンテンポラリーの師匠で、19歳のときに1年間彼について回ってダンスを学んでいた時期がありました。

本当に辻本さんは、一日中ダンスのことを考えているんですよ。最初に驚いたのは、歯を磨いている彼を見たとき。腕を色々な角度で派手に動かしながら磨いていたので、思わず「何やっているんです

か？」って聞くと、「歯の磨き方の可能性を考えているんだ」って言われて、ものすごく面白い人だなあって(笑)。そしていっしょに道を歩いていたとき、また色々な歩き方をしているんです。「人々の間をすり抜けていくときの可能性を考えているんだ」って(笑)

稽古場でも絶えず動いている人ですね。本当にこの人は、ずっとダンスのことを考えているんだなって思いましたね。今でも、辻本さんだったらこの振付をどうやって踊るんだらうって思い浮かべます。それぐらい僕にとって影響のある人です。

—今回の稽古場ではどうですか？

辻本さんは常に頼りになる存在です。色々相談に乗ってもらいつつ、僕の疑問にもいっしょに考えてくれたり、真摯に向き合ってくれる人です。

辻本さんの振付は、結構ハードな動きが入っているので出演者の人たちから「身体が痛い」とか悲鳴が上がったりしていますが(笑)、辻本さんの独特の振付が、良い世界観を生み出してくれています。

—今回の舞台でもっともチャレンジングなことは？

アクションですね。一幕の中で出てくるんですが、僕のこれまでのキャリアの中で一番キツイシーンがあります！それがビックチャレンジですね。楽しみにしてください。

—いつも励みにしている、支えとしている言葉はありますか？

母親から「いつも感謝しなさい」と言われていますが、この気持ちは常にあります。そして、辻本さんの「変わることで変わらないこと」の格言。この二つですね。

—踊ることへのモチベーションは何でしょう？

これは、ケンシロウと通じるものがあると思いますね。言葉にならない叫びや心情、モヤモヤしたような気持ちなどを、踊りだったら表現できるという感覚が前からあって、それを子供のときから学んできた経験が大きいと思います。

俳優は、言葉で表現することを生業とする職業だと思いますが、その中でも言葉にならない感情が沸いたとき、僕は身体表現が一番自然で自由に感じる。それが僕の踊る理由なのかなと思います。

—もっとも大切にしている生き方とは？

感謝と謙虚と素直さ。それと探究心ですね。

—本作の見どころをずばりお願いします！

今まで観たことがないミュージカルになると確信していますので、見なかったらソンするだろうなと思っています！原作を知っている人とそうでない人にも共感できるテーマなのでたくさんの人に観ていただきたいです。

(＊辻本の「辻」のシンニョウは点1つになります)

ミュージカル『フィスト・オブ・ノーススター～北斗の拳～』

2021年12月8日(水)～29日(水)日生劇場

[https://horipro-stage.jp/stage/musical\\_fons2021/](https://horipro-stage.jp/stage/musical_fons2021/)

#### 【大貫勇輔プロフィール】

7歳より母の経営するスタジオでダンスを始める。祖父は体操のオリンピック強化選手、母や伯母も元体操選手という生粋のサラブレッド。17歳よりプロダンサーとして数々の作品に出演。バレエ・ジャズ・コンテンポラリー・モダン・ストリート(ブレイク・ポップ・ハウス・ロッキング・ヒップホップ)アクロバット等多岐に渡るジャンルのダンスを踊りこなす。ダンサー・俳優。

<https://www.horipro.co.jp/onukiyusuke/>